

定量のためのウェスタンブロッティング 蛍光ウェスタンブロッティングセミナー

ウェスタンブロッティングは、ライフサイエンス研究において汎用的に用いられておりますが、昨今ではデータの信頼性を担保するために抗体の特異性や、感度、そして定量性が求められるようになってきました。一方、検出では検出感度の高さから化学発光法を用いた方法が一般的ですが、定量直線性やダイナミックレンジ、複数ターゲットの検出が難しいなどの、正確なデータを得るための課題が残されています。本セミナーでは、これらの課題に対するブレイクスルーをもたらす蛍光ウェスタンブロッティングについてバイオ・ラッドの新製品情報を交えてご紹介させていただきます。日頃、ウェスタンブロッティングを用いた実験を行っている研究者の皆様は是非ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

セミナー概要

- 現状の化学発光を含めたウェスタンブロッティングの定量性を上げる(よりきれいに)ためのポイント
- 蛍光ウェスタンブロッティングのメリット
-より高い定量性・複数ターゲットの同一メンブレンでの解析等-
- 蛍光ウェスタンブロッティングに最適化されたバイオラッド社
ChemiDoc TouchMPシステムによる実験提案

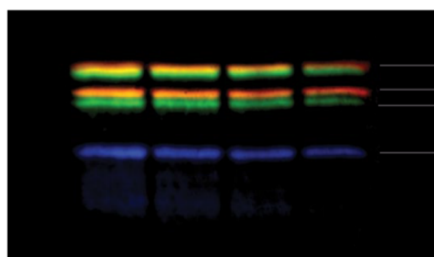
日時: 2019年 6月 20日 15時00分~16時00分
場所: 長崎大学遺伝子実験施設 2Fセミナー室

◆問合せ先◆

学内: 遺伝子実験施設 (内線 7190)
grc@ml.magasaki-u.ac.jp

メーカー: バイオラッド・ラボラトリーズ株式会社 担当: 定政

TEL : 03-6361-7000(代表) Email : keisuke_sadamasa@bio-rad.com



Merged target proteins
#1 and #2
Target protein #1: Phospho-ERK1/2
Target protein #2: ERK1/2
Anti-GAPDH hFAB
Rhodamine Antibody

蛍光検出法を用いたリン酸化タンパク質同時検出例

